

# ルリイトンボ

*Enallagma circulatum* Selys  
トンボ目・イトトンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

全国的に見ると本県が分布の南西限にあたる。本種の生息地は本州では局限されており、本県においても生息地は大野市内の4か所に限られる。

## 分布

国内では北海道と福井・岐阜県以北の本州に分布する。県内では大野市小池、刈込池と南六呂師の溜池が生息地として知られていたが、今回の調査で大野市赤池でも見つかった。

## 種の特徴

寒冷地の植生豊かな池沼に生息する北方系種。本州では比較的標高の高い地域に分布が限定されるが、石川県では標高約50mの低地に生息する例が知られる。大野市刈込池では成虫は6～9月に確認されている。幼虫で冬を越す。

## 生息を脅かす要因

県内最大の生息地である刈込池での生息は安定しているが、小池では環境変化に伴う減少が指摘されている。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、尾園ら (2012)

| 市町別生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|         |     |      |     |     |     |     |     |      |     |      |     |     |      |     |     | ○   |     |

昆虫類

# ガンバイトンボ

*Platynemis foliacea sasakii* Asahina  
トンボ目・モノサシトンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

生息確認メッシュ数は前回の調査時と変化はなく、南川の河川沿いに広く分布すると判断されたため前回の絶滅危惧Ⅱ類よりランクダウンした。ただし、生息地は人為的影響を受けやすい環境であり、近年の豪雨による洪水の影響もあるため引き続き注視が必要。

## 分布

宮城県以南の本州、四国、九州に局地的に分布する。日本海側では本県嶺南地方が分布東限。県内では小浜市、旧名田庄村の南川流域と、おおい町の佐分利川流域に生息する。

## 種の特徴

オスの中・後脚の脛節が白く大きく広がるのが特徴。平地～丘陵地の周囲に樹林がある抽水植物や沈水植物が豊富で、水質の良好な河川中流域、湧水や細流に生息する。成虫は5～8月頃に出現し、特に6月に多い。幼虫期間1年程度（1年1世代）で、幼虫越冬。

## 生息を脅かす要因

岸にツルヨシ等の繁茂する清流に生息しているため、植生が破壊され、水質の汚濁を伴う河川改修は本種にとって脅威である。また、近年の大雨による洪水等によって生息地が失われることも心配される。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、環境省 (2015)、尾園ら (2012)、和田・和田 (2006)

| 市町別生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|         |     | ○    |     |     | ○   |     |     |      |     |      |     |     |      |     |     |     |     |

# アオハダトンボ

*Calopteryx japonica* Selys  
トンボ目・カワトンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域準絶滅危惧 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

前回の調査時に比べ、確認メッシュは減少しているが、嶺南の河川沿いに広く分布していると考えられる。ただし、本種の生息地は人為的影響を受けやすい環境であり、引き続き注視が必要。

## 分布

本州、九州に分布。各地でみられるが、生息地は局限されている。県内ではこれまで敦賀市や、おおい町・小浜市の南川流域で採集記録がある。

## 種の特徴

オスの翅が青藍色に輝く美しいトンボ。平地～丘陵地の抽水植物や沈水植物が豊富な、砂底の河川中流域に生息する。幼虫期間1年程度（1年1世代）、幼虫越冬。成虫は主に6～7月に出現する。

## 生息を脅かす要因

清流に生息する種であるため、河川の水質悪化の影響を受ける。旧名田庄村の南川流域は従来本種が多く生息していたが、近年の洪水による河川環境の変化とその復旧のための河川改修の影響が懸念される。

参考文献 福井県自然保護課 (2002)、環境省 (2015)、尾園ら (2012)、杉村ら (1999)

| 市町別生息情報 | 若狭町 | おおい町 | 高浜町 | 美浜町 | 小浜市 | 敦賀市 | 越前町 | 南越前町 | 池田町 | 永平寺町 | 坂井市 | 越前市 | あわら市 | 鯖江市 | 勝山市 | 大野市 | 福井市 |
|---------|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|
|         |     | ○    |     |     | ○   | ○   |     |      |     |      |     |     |      | ○   |     |     | ○   |